

V32b JVOの研究開発 (公開システムのデモンストレーション)

白崎裕治、田中昌宏、大石雅寿、水本好彦、川野元聡、大江将史(国立天文台)、本田敏志(ぐんま天文台)、安田直樹(東大宇宙線研)、増永良文(青山学院大)、石原康秀、堤純平、町田吉弘(富士通)、中本啓之、小林佑介、坂本道人(セック)

Japanese Virtual Observatory (JVO) は世界中の天文データサービスへのポータルサイトである。アクセス URL は <http://jvo.nao.ac.jp/portal>。JVO システムにアクセスしそこからデータ検索を実行することで、世界中の様々な天文データベースに対し本システムが自動的にアクセスし、データを簡単に取得することができる。JVO システムは天文データ検索機能のほか、取得したカタログデータから天体の HR 図などを簡単に作図する機能や、取得した画像データやスペクトルデータの閲覧ならびにそれらに対する解析機能をもつ。さらには、すばる望遠鏡データについてリダクション済みデータの取得や再リダクション機能も提供し、すばるのデータを利用したことのない初心者でも簡単にすばるのデータを利用できる機能の充実を図っている。

2008年3月より JVO システムはこれまでの試験公開版から本公開版へと移行し、ユーザ登録の受付も開始している。本公開版システムのデモンストレーションをポスターセッションの時間帯に行っている。デモンストレーションでは、1. 各国の VO サービスに対する検索、2. JVO 内部に構築されたバーチャルユニバースに対する高速検索、3. 検索結果の各種表示機能(プロット、画像表示、スペクトル表示)の利用方法、4. 各種解析サービス(天体検出、スペクトルフィッティング等)の利用法、5. すばるデータの取得方法、6. ワークフロービルダーによる検索・解析処理のパイプライン処理作成とその実行、といった内容について紹介する。